

E I G Oで話そうin壽丸屋敷 (9回開催)



クリスマスにはプレゼントも



ジャロド先生



ジェフ先生のトナカイさん



楽しく勉強できます

「外国人ともっとお話をしてみたいけどなかなか勇気がでない・・・。」といった方などに気軽に参加していただける英会話教室です。英語や国際交流に興味のある方であればどなたでも参加でき、季節に応じたイベントなども催されています。講師は白石市国際交流委員のジャロド・ヘクターさん、白石市外国語指導助手のジェフ・キョオカさんなどです。お問い合わせはALTAshiroi@ishimaide.com (☎25-3720) 次の開催は2月16日(日)です。



中心市街地の賑わい創出

壽丸屋敷で「スロー・イズ・ビューティフル」を!!

現在



過去



「壽丸屋敷」は、今、「街に残る貴重な遺産を後世に残し、活用したい」という市民活動により、取り壊しの危機を乗り越え、さまざまなイベントなどに利用されています。

昨年(2021年)の市民春まつりで、80年前の「はしご乗り」が消防団階子乗りの皆さんにより中心市街地で再現されました。観客の服装も町並みもすっかり変わってしまいましたが「はしご乗り」と「壽丸屋敷」だけが、80年前の面影を今に残っていました。

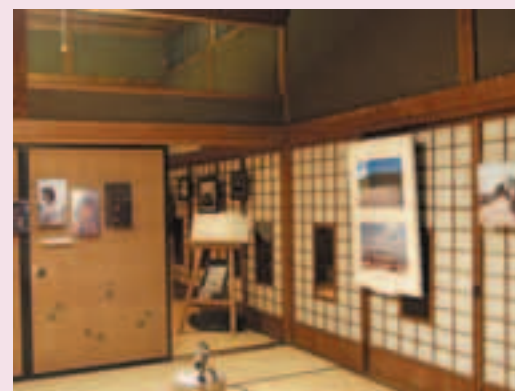


壽丸屋敷はどんなところ?

壽丸屋敷はどれくらい、どんなふうに使われているの?

中心市街地の中町地区にある明治中期の店蔵と大正時代の母屋を持つ旧商家屋敷。平成10年に取り壊しの危機に遭いながら、市民の保存運動により平成11年9月に市に寄贈され、市による屋根や壁の補修、簡易トイレ、消火器などの設置後、市との契約により商工会議所が維持管理を行っています。

主な利用内容は、ライブ、芝居、寄席、マジック、三味線、落語、コンサート、写真展、ひな祭、甲冑展示、人形展、パッチワークや手芸教室、交流会の開催などさまざまな団体や個人によるもので、利用者、利用回数とも伸びています。



写真展の様子

壽丸基金ってなに?

「所有者は市、管理しているのは商工会議所、修繕も備品も市と会議所」ではなく、壽丸屋敷を「市民が支える居心地いい空間」とするため、利用者や来場者などの市民がつくる市民のための基金をとの市民グループからの提案により創設された基金です。

壽丸屋敷に「カンパ箱」を設置し、イベント時にカンパを呼びかけて、ある程度の額に達したら備品などを購入し、イベントが実施されやすいようにする、カンパという行為を通して「市民が支えている施設」という意識を大切にしようという基金です。平成13年12月に創設された基金は、わずかながらではありますが確実に増え続けています。

利用してみませんか?

現在、壽丸屋敷はまだ「市民が支える居心地いい空間」にはほど遠いかも知れませんが、でも、明治大正、昭和、そして、平成の風も味わっている壽丸屋敷で、イベントに参加する時の流れが緩やかにになり、優しい気持ちになれそうです。

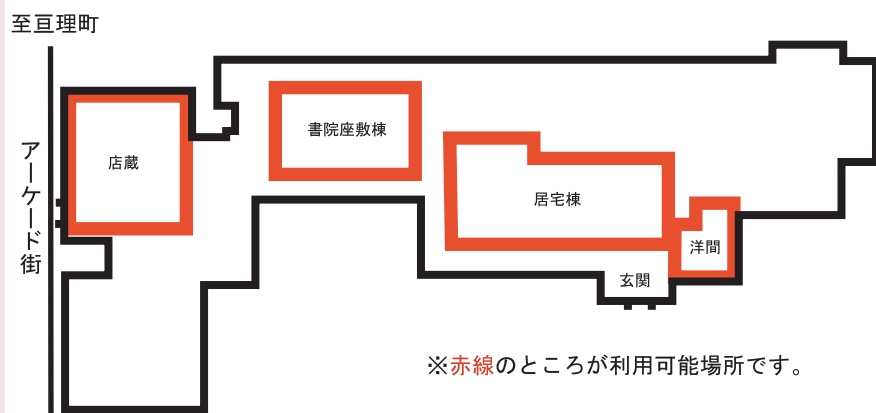
今年、皆様も壽丸屋敷で手作りの思い出に残るイベントを開催して見ませんか?そして、壽丸屋敷の前を歩いているときは、イベントが開催されているときは、ぜひ、足を踏み入れて見ませんか?きつと、そこからゆっくりと少しずつ中心市街地の賑わいが生まれてくるのではないのでしょうか?

壽丸屋敷の利用方法は?

各種団体の会議やサークル活動展示会、イベントなどに利用できます。

利用料金は、各部屋(店蔵、書院座敷棟、居宅棟、洋間)毎1時間当たり消費税別100円です。詳しくは商工会議所まで(☎2612191)

「壽丸屋敷」屋敷図



壽丸屋敷利用者数

年度	利用回数	利用延べ人数	月平均利用人数	備考
平成11年度	30回	1,006人	168人	10~3月分
平成12年度	48回	2,431人	203人	
平成13年度	52回	2,992人	250人	
平成14年度	28回	2,482人	276人	4~12月分

